

第3回学校運営協議会議事録

校名	府立東百舌鳥高等学校
校長名	浜田 佳樹

開催日時	令和6年1月30日(火) 15:00 ~ 17:00
開催場所	大阪府立東百舌鳥高等学校 校長室
出席者(委員)	伊井直比呂 会長、梶山尚也 副会長、青木浩子 委員、西村和彦 委員、橋本眞紀子 委員
出席者(学校)	浜田佳樹 校長、夏川照章 教頭、平井啓一 事務長、西川英志 首席、真島匠 教諭、福井美由紀 教諭、宮本晋一 教諭、富田静代 教諭、(代理出席)岡崎拓夢 教諭
傍聴者	0名
協議資料	令和5年度 学校教育自己診断、令和5年 授業アンケート、令和5年度学校教育目標の自己評価票、令和5年度 学校経営計画及び学校評価、令和6年度 学校経営計画
備考	

議題等(次第順)

議題等(次第順)

- ・校長挨拶 ・学校運営協議会会長挨拶
- ・説明及び協議
 - (1)令和5年度 学校教育自己診断について
 - (2)令和5年度 第2回授業アンケートについて
 - (3)令和5年度 学校教育目標の達成状況について
 - (4)令和5年度 学校評価について
 - (5)令和6年度 学校経営計画について
 - (6)その他

協議内容・承認事項等(意見の概要)

- ・各資料について、説明。その後、協議及び質疑応答をおこなった。
- ・(4)、(5)については満場一致で承認された。

●主な質疑・提言等

- ・(令和5年度学校教育自己診断(保護者)について)保護者への質問1「子どもは学級が楽しいとっている。」となっているが、生徒は学校内で様々な活動を楽しんでいることから、『学級』だけに寄らず、『学校』全体を対象としてみても良いのではないかと？
⇒来年度に向けて検討する。
- ・(令和5年度学校教育自己診断(生徒)について)生徒への質問8「学校の生活規律や学習規律などの指導は理解できる。」となっているが、昨年までは「学校は生活規律や学習規律などの指導に力を入れている。」であったが、なぜ変更したのか？
⇒めざす学校像に即した指導に対して、生徒たちが納得しているか、確認するために変更した。これまでの指導に納得していなかったとしても、『力を入れている』ならば肯定評価になる可能性を考慮したことによる。
- ・(令和5年度 学校教育目標「生徒指導部」の達成状況を受けて)遅刻が減少しているが、これはクラス減によるものではないかと？
⇒一人あたりの遅刻数も微減している
- ・(令和5年度 学校教育目標「生徒指導部」の達成状況を受けて)学校内だけで使用している語句が多い。説明を入れるか、そうした表現は控えてほしい。
- ・(令和5年度 学校教育目標「生徒指導部」の達成状況を受けて)昨今、起立性調節障害などが話題になっているが、こうした症状に対する遅刻などの配慮はあるのか？
⇒医師による診断書等があれば、生徒指導上の遅刻などは配慮している
- ・探究発表会について、他方から発表のレベルが上がっているとの高評価を聞いている。これは東百舌鳥高校は生徒を育てられる学校であるとアピールになる。このことで積極的に外部と連携したり、外に出ていってみたいのでは？
⇒1月27日の本校の探究発表会において、長野高校の探究発表チームが本校で発表した。長野高校をはじめ本校の探究学習に関心を示した学校とは今後もこうした活動を検討したい。

・校務の効率化のために可能なことは外部への委託をはじめていることは良い。ただし、お金が必要であるため、事務の方も予算確保に向け努力して欲しい。

⇒生徒の学習環境をよりよくするため、校内での会議等での意見をふまえ、予算確保に努めている。

●ご意見・ご感想

・(学校教育自己診断とストレスチェックの結果より)業務が減らない中で、先生方の協力体制で乗り切っていることはたいへん高く評価できる。

・探究はすばらしい試み。生徒の視点を教員が理解するためにも、良い学習活動だと思うので頑張ってもらいたい。また、紀伊國屋書店への生徒が作成したPOP提供は実に面白いし、期待している。

・コロナウイルスによる制限が無くなっていく時期となっているが、元に戻すのか、そのままにするのか難しいと思う。その迷いの中で東百舌鳥の強みはどこか？ということを考えて欲しい。また、分掌ごとに様々な活動を頑張っているが、分掌個別の頑張りではなく、トータルで良い活動になるように注意して欲しい。

・細かく指導の計画をしっかりとたてているところに驚いたとともに、生徒のための指導に尽力していることに感謝したい。そのため、東百舌鳥高校が良い学校であると地域の人に知ってもらいたい。東百舌鳥の魅力をアピールしていく方法を考えていければと思う。